

(参考資料) 第3期神戸市教育振興基本計画の進捗状況

【授業改善（「主体的・対話的で深い学び」の実現）】

(重点事業1)

指標1	「授業が分かる（よく分かる・だいたい分かる）児童生徒の割合」					
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
小5	国91.2%、社85.8% 算87.4%、理92.0%	国89.1% 社86.1% 算84.8% 理92.2%	国82.2% 社82.3% 算81.2% 理90.8%	国80.1% 社79.7% 算78.7% 理89.0%	全教科90%以上	△
中2	国86.5%、社77.4% 数76.4%、理77.6% 英73.7%	国88.2% 社80.2% 数79.0% 理82.0% 英69.5%	国83.1% 社78.0% 数72.8% 理79.1% 英69.9%	国78.3% 社73.6% 数69.0% 理74.3% 英67.6%		
課題認識	小・中学校ともに全ての教科で目標を下回っており、全体的に昨年度より数値が下がっている。特に中学校の英語では、目標値より12ポイント程度下回っている。学力が低下しているのではなく、「分かった」という実感をもてていないことが原因であり、「分かる」という認識をもてるような指導の充実が必要となっている。					
今後の取組	児童生徒が「分かる」という実感を持つことができるよう、自ら学習計画を立て、内容を自分なりに深めたり、他者と意見交換をしたりできるなど、授業スタイルの見直しをすすめる。デジタルドリルを活用するなど、基礎学力の定着を図るとともに、発展問題に取り組めるようにする。英語については、民間事業者による英語4技能テストを試行的に実施し、試験結果の分析を踏まえた授業改善を図る。					

指標2	「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取組んでいたと思う」児童生徒の割合（全国平均との差）						
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗	
小6	全国	77.7%	78.2%	77.3%	78.8%	全国平均以上	△
	神戸市	76.1% (△1.6ポイント)	76.9% (△1.3ポイント)	74.8% (△2.5ポイント)	74.0% (△4.8ポイント)		
中3	全国	74.8%	81.0%	79.2%	79.2%		
	神戸市	71.0% (△3.8ポイント)	78.4% (△2.6ポイント)	76.7% (△2.5ポイント)	75.9% (△3.3ポイント)		
指標3	「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」児童生徒の割合（全国平均との差）						
	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗	
小6	全国	65.9%	63.5%	65.4%	63.7%	全国平均以上	△
	神戸市	64.2% (△1.7ポイント)	64.5% (+1.0ポイント)	64.8% (△0.6ポイント)	63.1% (△0.6ポイント)		
中3	全国	55.8%	62.0%	63.3%	62.1%		
	神戸市	50.1% (△5.7ポイント)	56.3% (△5.7ポイント)	57.8% (△5.5ポイント)	53.6% (△8.5ポイント)		
課題認識	小学校、中学校ともに全国平均を下回っており、学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層進める必要がある。						
今後の取組	『「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた単元単位の授業改善指導案（授業パッケージ）』を活用し、ICT機器の活用をさらに進めるとともに、自分の考えをまとめる場面、他者と協働的に学ぶことのできる学習場面などを取り入れた学習活動の充実を図っていく。						

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「全国学力・学習状況調査」及び「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が中止になったため、令和元年度の数値を掲載しています。

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

指標 4		授業改善を目的とした「授業研究」の実施回数					進捗
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	
小学校で3回以上 中学校で2回以上 行っている学校の割合		小75% 中67%	小87% 中74%	小85% 中85%	小98% 中98%	全校で実施	△
		小41% 中45%	小46% 中46%	小40% 中52%	小60% 中60%	小80% 中80%	
課題認識	ほとんどの学校で定期的な授業研究が行われている。働き方改革を推進しながら研修の充実を図っており、引き続き、柔軟な発想で研修を計画・運営していく必要がある。						
今後の取組	効果的な授業研究・討議を通じて、児童生徒主体の授業充実に向けて、更なる授業改善につなげていく。						

【基礎学力の定着・さらなる学力の伸長】

(重点事業1)

指標 5			全国学力・学習状況調査における正答率4割以下の層の割合(全国平均との比較)					進捗
			令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	
小6	国語	全国	19.0%	14.3%	15.0%	16.6%	0.9倍未満に 改善	△
		神戸市	17.5% (0.92倍)	14.1% (0.99倍)	14.5% (0.97倍)	15.4% (0.93倍)		
	算数	全国	12.3%	11.1%	17.8%	25.7%		
		神戸市	13.5% (1.10倍)	10.4% (0.94倍)	17.7% (0.99倍)	24.3% (0.95倍)		
中3	国語	全国	15.4%	11.9%	10.2%	14.5%		
		神戸市	14.2% (0.92倍)	10.8% (0.91倍)	11.3% (1.11倍)	16.5% (1.14倍)		
	数学	全国	23.3%	25.0%	33.7%	40.7%		
		神戸市	26.1% (1.12倍)	21.8% (0.87倍)	30.3% (0.90倍)	39.9% (0.98倍)		
指標 7			全国学力・学習状況調査における正答率8割以上の層の割合(全国平均との比較)					進捗
			令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	
小6	国語	全国	26.4%	24.3%	28.4%	27.1%	1.2倍以上	△
		神戸市	25.6% (1.0倍)	24.4% (1.0倍)	30.5% (1.1倍)	30.5% (1.1倍)		
	算数	全国	28.5%	42.8%	30.2%	30.0%		
		神戸市	32.8% (1.1倍)	44.3% (1.0倍)	32.3% (1.1倍)	32.8% (1.1倍)		
中3	国語	全国	55.4%	20.9%	31.1%	46.3%		
		神戸市	56.2% (1.0倍)	21.3% (1.0倍)	30.7% (1.0倍)	44.3% (0.9倍)		
	数学	全国	30.5%	20.7%	13.0%	19.8%		
		神戸市	35.0% (1.1倍)	21.9% (1.0倍)	15.8% (1.2倍)	21.8% (1.1倍)		
課題認識	小学校の国語・算数は全国平均より良好であるが中学校は全国平均前後となっており、いずれも目標値には至っていない。一人一人の学習状況に応じた指導の充実が必要となっている。							
今後の取組	学習指導員との連携により個々の学習状況に応じたきめ細やかな指導の充実を図るとともに、児童生徒が自分に合った学び方を見つけて学習をすすめたり、自ら課題や関心に合わせて学びを深めたりすることのできる個別最適な学びについて、教育実践研修グループや先進校と事務局との共同研究の成果を授業改善につなげていく。							

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

指標6			全国学力・学習状況調査における記述問題の無解答率（全国平均との差）					
			令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	（目標値）令和5年度末	進捗
小6	国語	全国	7.7%	6.4%	9.9%	9.9%	全国平均以下	△
		神戸市	8.9% （+1.2ポイント）	5.4% （△1.0ポイント）	9.0% （△0.9ポイント）	8.9% （△1.0ポイント）		
	算数	全国	5.7%	6.7%	5.0%	6.3%		
		神戸市	6.1% （+0.4ポイント）	5.3% （△1.4ポイント）	5.9% （+0.9ポイント）	6% （△0.3ポイント）		
中3	国語	全国	6.2%	14.1%	12.8%	11.4%		
		神戸市	8.0% （+1.8ポイント）	14.6% （+0.5ポイント）	16% （+3.2ポイント）	14.5% （+3.1ポイント）		
	数学	全国	17.1%	21.1%	22.1%	19.2%		
		神戸市	18.2% （+1.1ポイント）	21.7% （+0.6ポイント）	24.4% （+2.3ポイント）	22.1% （+2.9ポイント）		
課題認識			小学校は、記述問題の無回答率は全国平均以下となり目標を達成した。一方で中学校は全国平均を超過しており、自分の考えをまとめ表現する力の育成が課題となっている。					
今後の取組			自分の考えをまとめ表現することに課題が見られるため、中学校の国語においては、自分の考えをもち、それを論理的に表現する力の育成を目指して作成した教材（『条件作文パッケージ』）を全市で活用し、改善を図る。また他教科においても自分の考えをもって表現できる力を身につけさせる授業づくりを進めていく。					

【自己肯定感と教師の関わり】

（重点事業2）

指標8			「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合（全国平均との差）					
			令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	（目標値）令和5年度末	進捗
小6	全国	81.2%	76.9%	79.3%	83.5%	全国平均以上	△	
	神戸市	82.7% （+1.5ポイント）	77.3% （+0.4ポイント）	78.2% （△1.1ポイント）	82.1% （△1.4ポイント）			
中3	全国	74.1%	76.2%	78.5%	80.0%			
	神戸市	75.9% （+1.8ポイント）	75.9% （△0.3ポイント）	78.2% （△0.3ポイント）	79.3% （△0.7ポイント）			
課題認識			小学校6年、中学校3年ともに、目標は達成していないものの、「自分にはよいところがあると思う」児童生徒の割合は、前年度より改善している。さらに、学校教育活動の充実を進め、達成感や成功体験を経験する機会を増やして、自己肯定感・自己有用感を育てる必要がある。					
今後の取組			児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高めるため、自分の考えを表現し、理解してもらう経験を積むことができるように授業内容を工夫する。また、日々の学校生活や学校行事、自然学校などの体験活動やトライやる・ウィーク等の職業体験活動等において、自分の長所をいかして、自発的かつ積極的に挑戦する機会をもち、自己肯定感や自己有用感を育てるよう取組を進めていく。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

指標9		「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」児童生徒の割合（全国平均との差）						
		令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値)令和5年度末	進捗	
小6	全国	86.1%	※令和3年全国学力・学習状況調査の項目から外れたため比較できず 【参考:神戸市学習状況調査】	87.1%	89.8%	全国平均以上	△	
	神戸市	83.3% (△2.8ポイント)		83.0% (△4.1ポイント)	85.2% (△4.6ポイント)			
中3	全国	81.5%		小4 83.0% 小5 82.6%	86.6%			87.3%
	神戸市	79.6% (△1.9ポイント)		中1 80.9% 中2 82.6%	83.8% (△2.8ポイント)			84.3% (△3.0ポイント)
課題認識		小学校6年、中学校3年ともに、目標を下回った。児童生徒たちにとって教員との関わりは、安心感や自尊感情に大きく影響するため、児童生徒たちの不安な気持ちに寄り添い、丁寧且つ細かに接する必要がある。また児童生徒の発達段階に応じた取組や活動を継続的に行う必要がある。						
今後の取組		児童生徒へ毎日の言葉かけを行うとともに、作文等の振り返りの活動を通じて、一人一人の心の変化をくみ取り、寄り添うように努める。また、他者との協働の中で、自分の役割を果たせるよう、様々な教育活動の中で児童生徒が輝ける場面を設け、教員が誉める言葉がかけられる場面や周囲の大人から認められる機会を増やしていく。						

【教育相談の実施】

(重点事業8)

指標10		「育てる教育相談」推進に向けた校内研修実施割合					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値)令和5年度末	進捗
「スキル演習」への参加校		小58.3%(95/163) 中68.3%(56/82)	小58.9% (96/163) 中70.7%(58/82)	小62.0% (101/163) 中72.0%(59/82)	小76.6(125/163) 中76.8%(63/82)	全小中学校で実施	△
課題認識		令和2年度からのコロナ禍により、実践演習を含む研修の実施を辞退する学校が多かったため、計画通りに実施割合が増えていない状況である。					
今後の取組		コロナ禍で学校現場での研修・演習ができなかった2年間を鑑み、令和6、7年度で未実施校57校（小学校38校・中学校19校）に対し、スキル演習を実施し、7年度末に全校実施を達成する。					

【健やかな体の育成】

(重点事業3)

指標11		全国体力・運動能力、運動習慣等調査の全項目					
		令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値)令和5年度末	進捗
全国平均到達項目 (小5・中2)		全34項目中3項目	全34項目中4項目	全34項目中10項目	全34項目中11項目	全項目	△
課題認識		全国平均を下回る傾向が続いているが、改善傾向が見られる。運動意欲（「体育の授業が好き」と回答した割合）は全国平均を上回っている。この高い運動意欲を体力数値につなげるような取組の工夫が必要である。					
今後の取組		学校全体で運動の習慣化を目指す取組を推進するとともに、体育の授業では、体力の向上に向けて個々に目標を設定することで、児童生徒が自身の課題を発見し、伸びを実感できるように努める。また、民間人材等を活用し、放課後に希望種目の運動教室を行う等、授業以外の場面でも運動する機会の充実を図る。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

指標12	中学校部活動の活動内容満足度					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	89.0%	88.0%	84.0%	81.0%	毎年80%以上	○
課題認識	「満足である」「どちらかと言えば満足である」と回答した生徒が81%となっており、目標を達成している。					
今後の取組	「神戸市立中・義務教育学校部活動ガイドライン」に沿って部活動が実施できているかどうか、引き続き、部活動状況調査等による実態把握に努める。					

【特別支援教育の推進】

(重点事業4)

指標13	「個別の指導計画(※1)」や「ネットワークプラン(※2)」の確実な引継ぎと活用					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	小→中への引継ぎ 88% (内訳) ・「個別の指導計画」「ネットワークプラン」の両方 68% ・「ネットワークプラン」のみ 20% 中→高への引継ぎ 80% (内訳) ・「ネットワークプラン」 53% ・その他の引継ぎ様式 27%	小→中への引継ぎ 93% (内訳) ・「個別の指導計画」「ネットワークプラン」の両方 47% ・「ネットワークプラン」のみ 46% 中→高への引継ぎ 90% (内訳) ・「ネットワークプラン」 67% ・その他の引継ぎ様式 23%	小→中への引継ぎ 96% (内訳) ・「個別の指導計画」「ネットワークプラン」の両方 58% ・「ネットワークプラン」のみ 38% 中→高への引継ぎ 92% (内訳) ・「ネットワークプラン」 72% ・その他の引継ぎ様式 20%	小→中への引継ぎ 97% (内訳) ・「個別の指導計画」「ネットワークプラン」の両方 89% ・「ネットワークプラン」のみ 8% 中→高への引継ぎ 98% (内訳) ・「ネットワークプラン」 77% ・その他の引継ぎ様式 21%	100%	○
課題認識	「個別の指導計画」や「ネットワークプラン」の引継ぎ実施割合は年々上昇しているが、通常の学級に在籍している児童生徒について、保護者が引継ぎの意向を示さなかったため、実施できていない事例がある。					
今後の取組	保護者に対して、引継ぎの意義や必要性について丁寧に説明することで理解を求めていく。					

※1 学習面や生活面での単年度目標(学期ごと)を設定するもの。

作成対象は特支校・特支級・通常学級(通級による指導を受けている)在籍者に加え、特別支援教育相談センターを利用している児童生徒。

※2 長期的な視点での目標や療育状況について記載するもの。

他機関とも連携し、一貫した支援を行うことを目的に作成。作成対象は特支校・特支級・通常学級(通級による指導を受けている)在籍者に加え、特別な教育的支援を必要とする児童生徒。

指標14	通級指導教室の設置					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
通級指導教室数	19教室	29教室	39教室	54教室	50教室	○
課題認識	目標を達成しているが、引き続き、通級指導が必要な児童生徒数の増加に対応するため、自校通級指導教室を含めた通級指導体制の再構築を図る必要がある。					
今後の取組	教員配置や人材育成の状況を踏まえながら、100教室程度を目標に自校通級指導教室の整備を進めるとともに、通級指導体制のあり方について検討する。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

指標15	特別支援学校高等部知的障害部門卒業生就労率（※1）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	（目標値）令和5年度末	進捗
	14.0%	12.0%	15.7%	14.9%	15%以上	○
課題認識	特別な配慮を要する中学校卒業生の進路が多様化していることをふまえつつ、生徒・保護者の希望をもとに、生徒の特性や家庭環境を考慮し、就職後の定着を考えたマッチングを丁寧に進めていく必要がある。					
今後の取組	一人一人の生徒の能力を最大限に引き出すため、就労支援プログラム推進事業の一層の充実を図り、作業学習やキャリア教育を推進する。					

【高校・高専教育の特色化の推進】

（重点事業6）

指標16	市立高校生の学校生活満足度					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	（目標値）令和5年度末	進捗
全日制	平均84%	平均85.3%	平均85.7%	平均89.2%	毎年平均90%以上	○
定時制	平均80%	平均86.1%	平均88.0%	平均86.6%	毎年平均80%以上	
課題認識	学校生活全体の満足度は全日制・定時制いずれも80%以上であった。各教育活動等の満足度に関する質問では、多くの学校で「学校行事」や「部活動」が高く、次に「教科の学習」や「進路に対する支援」となった。全体の満足度をより向上させるため、これらについてもさらに充実させていく必要がある。					
今後の取組	「教科の学習」や「進路に対する支援」をさらに充実させていくため、教育実践研修や校内研修の質向上に向けた支援を図りたい。					

指標17		高専卒業生（本科・専攻科）の学生満足度、学習・教育目標の達成度					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	（目標値）令和5年度末	進捗
高専卒業生 （本科・専攻科）	学生満足度 （授業、学生生活、就職進学等を各5段階評価）	平均3.82	平均3.91	平均3.79	-	毎年平均3.5以上	-
	学習・教育目標の達成度 （学生の自己評価の平均）	平均75.6%	平均77.4%	平均78.2%	-	毎年平均75%以上	
課題認識		-					
今後の取組		-					

※神戸高専は独立行政法人化に伴い、令和5年度から神戸市公立大学法人へ運営が移行されたため、第3期神戸市教育振興基本計画においては、令和4年度実績を最終とします。

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

【学校の組織力強化】

(重点事業9)

指標18	主幹教諭の配置					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	未配置6校 (分校を除く)	未配置校4校 (分校を除く)	未配置校3校 (分校を除く)	全校配置 (分校を除く)	役割を明確化 した上で未配置校解消	○
課題認識	令和5年度に分校を除く全校配置は完了した。主幹教諭の職責・役割を含む標準的業務の整理に取り組んでおり、校長・教頭の支援をはじめ、学校の組織力を高めるための能力開発を図る必要がある。					
今後の取組	引き続き、学校規模に応じた適正配置に努めていく。					

指標19	総務・学習指導担当の小学校配置					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	146校	146校	146校	146校	一部の小規模校を除く、 配置計画校全校 (146校)に配置	○
課題認識	令和2年度に当初の配置計画校への配置は完了した。					
今後の取組	令和6年度より小学校全校に対し配置するとともに、各学校の組織力の強化やポストの有効活用が図られるよう、学校状況等に応じて教職員定数を配当していく。					

指標20	教頭等の業務を補助するスタッフ（スクール・サポート・スタッフ）の配置					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	160校	163校	160校	160校	小規模校を 除く全校に配置	○
課題認識	令和6年度より全校配置予定。					
今後の取組	教員の負担を軽減し、学校の組織力強化が図られるよう、有効な配置のあり方を引き続き検討していく。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

【働き方改革の推進】

(重点事業 10)

指標21	勤務時間外在校時間					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	小学校39時間 中学校51時間 高校(全日制)38時間	小学校38時間 中学校51時間 高校(全日制)36時間	小学校36時間 中学校52時間 高校(全日制)37時間	小学校32時間 中学校46時間 高校(全日制)34時間	各年度前年度比 10%減	△
指標22	年次有給休暇と夏季休暇をあわせて10日以上取得した教職員					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	79.1%	89.0%	91.4%	93.5%	教職員の90%以上	○
指標23	多忙感の改善を実感する教職員					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	30.0%	33.0%	31.0%	25.0%	教職員の80%以上	△
課題認識	教職員の勤務時間外在校時間は減少傾向にあるが、引き続き多忙感の改善など質的な面も含めて、実効性のある働き方改革を進めていく必要がある。					
今後の取組	今後も学校・事務局を含めた教育委員会全体で検討・議論を重ね、引き続き既出項目の定着と新規改善項目の洗い出しを行うとともに、勤務時間外在校時間の削減という「量」の観点だけでなく、教員のウェルビーイングの実現という「質」に着目した取り組みを進めていく。					

【女性活躍の推進】

(重点事業 10)

指標24	管理的地位にある教職員に占める女性教職員の割合					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	15.4%	17.1%	18.8%	19.7%	20%以上	○
課題認識	昨年度より0.9%増加したものの、目標達成に向けて、より一層、計画的な女性管理職人材の育成・活用を推進することが必要である。					
今後の取組	学校園・事務局における業務改善や様々な休暇制度を利用した多様な働き方の推進に取り組み、女性教職員が働きやすい職場環境の構築を図る。また、キャリア形成を念頭ににおいた人事異動や研修を行い、管理職人材の育成に努める。					

【学校施設の機能向上】

(重点事業 11)

指標25	トイレの洋式化					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
整備率	88.2%	100%	100%	100%	完了	○
課題認識	洋便器率の低い学校の改修を進める必要がある。					
今後の取組	和便器の割合が50%以上の棟がある学校を優先に、引き続き洋便器化改修を進めていくとともに、障害の有無や性別等に関わらず様々な人々が利用しやすいトイレを、「ユニバーサルトイレ」として計画的に整備していく。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】

【ICT 学習環境の整備・活用】

(重点事業 12)

指標26	全普通教室への大型提示装置（電子黒板機能付プロジェクタ等）整備率（小・中・特別支援学校・高校・高専）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	81.9%	100%	100%	100%	100%	○
指標27	全普通教室への無線LAN 整備率（小・中・特別支援学校・高校・高専）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	100%	100%	100%	100%	100%	○
課題認識	令和3年度に整備が完了した。					
今後の取組	今後は整備済みの学校における機器の更新や学級増等個別事情に応じた整備などを行っていく。					
指標28	授業にICTを活用して指導する能力があると考える教員の割合					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	67.6%	74.3%	75.0%	84.4%	100%	△
課題認識	教員が電子黒板等のICT機器を活用して指導する場面は増えているが、児童生徒の学習用パソコンの活用率については教員間で差があることが課題である。					
今後の取組	教員専用ポータルサイト「KOBEX～指導案・教材データベース～」の整備と内容の充実を図り、授業における学習用パソコン活用をさらに推進する。					
指標29	小・中学校、特別支援学校（小・中学部）に通う児童生徒へのPC（タブレット）整備率					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(目標値) 令和5年度末	進捗
	100%	100%	100%	100%	100%	○
課題認識	令和2年度に配備が完了した。					
今後の取組	各校で学習用パソコンの活用促進計画を立て、活用率向上を図るとともに、学習用パソコンの効果的な活用事例を創出する。					

【進捗：○…概ね想定どおり進捗している項目 △…進捗上、課題の見える項目】